

平成 25 年さくら写真コンクール入賞作品選評

「総 評」

今年の応募作品は、

「静岡県内の桜部門」	544 点	(前年度 697 点)
「富士山と桜部門」	140 点	(前年度 241 点)
「静岡県内の早咲き桜部門」	今年度は募集なし	(前年度 203 点)
合 計	684 点	(前年度 1,141 点)

今年度は「早咲き桜部門」の募集がなかったために「県内の桜部門」「富士山と桜景観部門」の 2 部門となったこと、季節の変化が激しく桜の開花が例年に比べ極端に早まり、開花の期間も短かったことなどの要因が重なり、カメラマンの皆さんの撮影条件が難しかったものと推察されます。又、今年度から応募点数も各部 1 人 5 点まで、入賞も一人 1 賞と変わったことも影響しているのか、応募人員 194 名（昨年度 278 名）と前年に比べ応募人員で 84 名、応募点数で 457 点の減少となりました。

内容を見みますと、応募総数の減少から昨年と比べ全体的なレベルの低下が感じられましたが、上位入賞の作品はさすがに素晴らしいものがありました。

しかし、前年度に上位入賞している作品に類似した作品は、写真としては良い物であっても外さざるを得ないものが数点ありました事をお伝えしておきたいと思います。

現代のカメラは誰でも綺麗な写真を簡単に写すことが可能ですが、綺麗なだけではコンクールに勝ち残ることはできません。

作者の気持ちが入った、見る者に感動を伝えられる写真が上位入賞となっていると思います。

激戦の中で入賞された方々にはお祝いを申し上げるとともに、残念ながら入賞を逃された方は次の機会には入賞されることを期待いたします。



最優秀賞

部門	部門共通
作品名	春満開
撮影地	島田市
撮影者	鈴木美喜夫 (島田市)

<選評>

人の生活と桜との関係を描いた写真は数少なかった中で、キラリと光っていた作品です。

新一年生の入学式の日でしょうか、親子の晴れ晴れとした笑顔と、少年の嬉しくも恥ずかしい心の動きが、的確な距離感とシャッターチャンスにより描写されております。簡単に撮れそうでいて、撮れない素晴らしい作品だと思います。

「静岡県内の桜」部門



特選

作品名 桜を見に行こう！

撮影地 三島市三嶋大社

撮影者 石上 勇
(藤枝市)

<選評>

池の水面に写る木の影と桜の花影を絶妙に配置し、全体をモノトーン調に仕上げ、桜の花と鯉だけに淡い色をのせた上品な作品であります。水面に浮かび花びらも季節の移ろいを感じさせる良い作品になっていると思います。題名の「桜を見に行こう！」が鯉の心情としてのものなら如何なものだろうか？ と思います。

題名は慎重に考えたい。



準特選

作品名 水辺に桜咲く

撮影地 蓮花寺池公園

撮影者 曾布川順子
(浜松市東区)

<選評>

夜間の蓮花寺池公園です。静かな池畔に咲く桜をとらえています。

全体がブルーの色調で、鏡のような水面がより一層の静寂感を感じさせてくれます。手前の桜の花が少しうるさく感じられますが、雰囲気や空気感は良く描写されています。



準特選

作品名 操車場の春

撮影地 川根本町両国

撮影者 諸田耕治
(川根本町)

<選評>

大井川鐵道井川線両国駅操車場での作品です。

線路脇に佇む二本の桜は操車場の中という悪条件でありながら大事に保存されているのでしょう、毎年花を咲かせてくれています。一人の駅員さんが線路上を走っていく位置や形が良いタイミングで捉えられています。この画角は吊り橋の上からの撮影でしょう、ポジションも的確だと思います。

「富士山と桜」部門



特選

作品名	春爛漫
撮影地	静岡市清水区
撮影者	佐藤美栄子 (静岡市駿河区)

<選評>

薩埵峠からの富士山と桜の風景です。眼前に満開の桜を入れ後ろに快晴の富士山を配置しています。

この作品とほぼ同じ絵柄の作品がほかに二点あり、何れも素晴らしい作品でしたが、この作品にだけ桜の枝にメジロが3羽止まっています。このメジロが飛来した幸運をものにできたことが入賞の決め手となりました。



準特選

作品名	桜に魅せられて
撮影地	富士宮市
撮影者	筒井 章

<選評>

堂々とした枝垂桜の古木を全面に入れ、後ろに富士山を配置しています。力強い幹と枝一杯の花は長い年月の歴史を感じさせてくれています。画面の構成力や露出、ピントなどの技術面も申し分のない作品です。



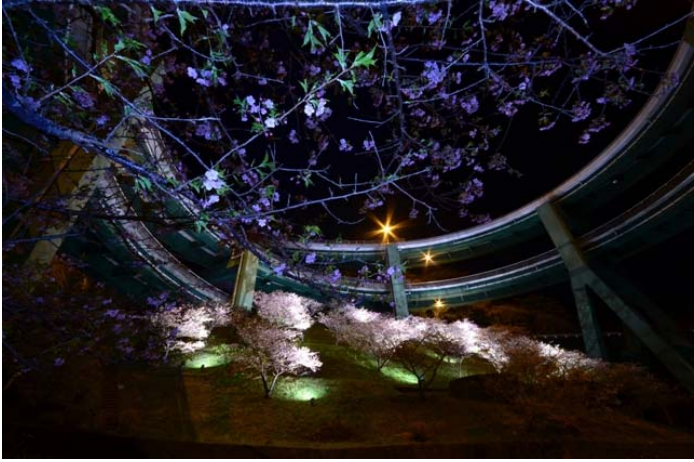
準特選

作品名	ぼたん桜と富士
撮影地	富士宮市
撮影者	石川金吾 (静岡市清水区)

<選評>

オーソドックスな画面構成であるが、桜と富士の相対する力が均衡しており、全体として力強い絵になっています。

色彩的にもブルーとピンクの配色が春らしい雰囲気をよく出しています。

	特別賞※	
	作品名	ミステリアスなループ橋
	撮影地	河津町
	撮影者	鵜飼康裕 (浜松市中区)
<p><選評> 河津町のループ橋が夜の照明に浮かんでいる状況を真下から捉えています。闇の中に浮かぶ桜の花と円形の橋の構成が面白く、光の変化も一層魅力的な絵にしています。</p>		

※特別賞は、道路利用者会議会長賞

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名

山里に咲く

撮影地

静岡市葵区

撮影者

塚本清次

作品名

湖畔の春

撮影地

葵区足久保

撮影者

望月美智子



作品名

山里の春

撮影地

伊豆市

撮影者

勝亦道子

作品名

櫻渠

撮影地

焼津市

撮影者

山下弘倫

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名	追憶の春
撮影地	大井川鉄道笹間渡
撮影者	細川純也

入 選（富士山と桜部門）



作品名	紅桜と富士山
撮影地	富士宮市
撮影者	佐藤泰弘



作品名	富士と花は花
撮影地	富士宮市
撮影者	中村哲雄



作品名	白桜満開
撮影地	富士桜自然墓地公園
撮影者	稲葉浩哉

作品名	爛漫の香り
撮影地	富士宮墓地公園
撮影者	加藤年一



作品名	1本の山さくら
撮影地	富士市
撮影者	平井省吾

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。